

2019年度「基礎研修Ⅱ」 募集要項



「基礎研修Ⅰ」を修了された方に対して、受講者を募集します！

静岡県社会福祉士会では、日本社会福祉士会生涯研修制度と認定社会福祉士制度に基づいた「基礎研修Ⅱ」を開催します。なお、この研修は認定社会福祉士認証のための研修でもあります。

■生涯研修制度における基礎課程の位置づけ

〈ねらい〉

社会福祉士として共通に必要な価値・知識・技術を学び、社会福祉士の専門性の基礎を身につけます。生涯研修制度の修了認定は、研鑽を積んでいる社会福祉士であることを証明します。

■基礎研修Ⅰ～Ⅲは、3期にわたる研修です

研修形態は、①事前課題による自己学習、②講義・演習による集合研修、③レポート作成などの事後課題、を交えた研修となります。

基礎研修ⅡとⅢは、5月より2月までの年10回にわたる集合研修が実施されます（月1回）。1年間で全研修を修了できなかった場合、受講できなかった研修を、翌年度以降に受講して修了することもできます。ただし、認定社会福祉士の認証を目的とするためには、3期にわたる研修を最大6年間で修了する必要があります（期限がある）。

■専門課程である「共通研修」「分野別研修」の受講は原則として基礎課程修了後となっていますが、修了前に受講したものは基礎課程修了後に単位として認められます。

基礎研修Ⅱのねらい

社会福祉士として共通に必要な知識・技術を踏まえた、実践の展開を学ぶ
受講時間：59時間＋自宅学習・事前課題・レポート作成

費用

会員：16,000円

- ・延長受講1年目は、無料
- ・延長受講2年目以降は、1日 2,000円

テキストをお持ちでない方（2016年度以降（基礎研修Ⅰ受講時）に購入されなかった方は、テキスト【上下巻およびSVテキスト】及び基礎研修Ⅱワークブック代6,382円（予定価格）がかかります。※テキストは基礎Ⅲまで使えます。

受講資格

2018年度までに基礎研修Ⅰを修了している方 または 基礎研修Ⅱを延長受講する方

申し込み受付期間 2019年4月1日(月) ～ 4月12日(金) ※必着

- 申込方法**：下記口座に受講料を振込後、「受講申込書」に必要事項をご記入の上、振込票を添付して、郵送かFAXのいずれかでお申し込みください。

清水銀行 静岡支店 普通預金
口座番号：2519124
口座名義：一般社団法人静岡県社会福祉士会

- お問合せ先**：一般社団法人静岡県社会福祉士会事務局
〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館4階
TEL：054-252-9877 FAX：054-252-0016

受講の留意点

- 静岡県で受講できない研修を、他都道府県社会福祉士会で受講することは可能です**

東海四県においては、協定書を結んでいますので1日3,000円の受講費用となります。各県の事務局を通してお申し出ください。

その他の県での受講希望については、申し込みは全て他県に直接各自で行っていただき、費用などは各県に応じた別途自己負担となります。なおこの場合、他県受講が決定した場合は必ず静岡県社会福祉士会事務局までご連絡ください。

- 各科目は、科目単位で全て受講していないと単位認定されません**

科目によっては受講の順番が定められており、順番に受講していないと次の研修を受講してもつながりが、わからないものがあります。

科 目	受講の順番
ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ	6月1日→6月22日→8月の順に受講
地域開発系科目Ⅰ	7月→9月の順に受講
実践評価・実践研究系科目Ⅰ	6月1日→11月→2月の順に受講

上記科目の研修を順番に受講できない事態が生じた場合は、以下のいずれかの方法をとります。

- ① 同じ科目の次の研修はを受講できないので、次年度以降に受講する（延長受講）
- ② 同じ科目の次の研修までに、受講できなかった研修を、他県で受講する

2019年度 基礎研修Ⅱ 東海四県統一カリキュラム予定一覧

- **原則** 愛知県：第2日曜日 岐阜県：第2日曜日 静岡県：土曜日 三重県：第3日曜日
- 受付開始は9:00。研修開始は9:30。遅刻は15分まで認めます。それ以降は受講とみなしません。
- 6月1日のみオリエンテーションを実施しますので9:20までにお集まりください。
- 事前学習があるものは、研修当日までに自己学習すること。提出がないと受講できません。
- 事前課題や中間課題は、指定がなければ2部作成し、原則1部提出すること
- 修了レポートは到達目標の70%に到達しているかで判定します。評価者の指示で再提出もあります。

日程	時間	会場	研修内容
6月1日(土)	6	レイアップ 5-D	研修オリエンテーション ⑨実践評価・実践研究系科目Ⅰ 「実践研究の意義と方法」 ①ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ 「相談援助の視座と展開過程」
6月22日(土)	6	レイアップ 5-D	②ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ 「実践のためのアプローチ(SW実践理論・モデルから学ぶ)」 「自立生活支援とコミュニティソーシャルワーク」
7月20日(土)	6	レイアップ 6-D	④地域開発・政策系科目Ⅰ 「社会資源の理解と社会資源開発」 「連携システムのあり方とネットワークの構築」
8月31日(土)*	6	レイアップ 5-D	③ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ 「実践事例演習」
9月14日(土)	6	レイアップ 6-D	⑤地域開発・政策系科目Ⅰ 「地域における福祉政策と福祉計画」 「社会福祉調査の方法と実際」
10月19日(土)	6	レイアップ 6-D	⑥人材育成系科目Ⅰ 「スーパービジョンとは」 「スーパービジョンのモデルセッションを見る」 「スーパーバイザー体験」
11月16日(土)	6	レイアップ 5-D	⑨実践評価・実践研究系科目Ⅰ 「実践研究のための記録」 「実践評価の方法」
12月14日(土)	6	レイアップ 5-D	⑦権利擁護・法学系科目Ⅰ 「社会福祉における法Ⅰ」 「ソーシャルワークと権利擁護の視点Ⅰ」
1月25日(土)*	6	レイアップ 5-D	⑧権利擁護・法学系科目Ⅰ 「社会福祉における法Ⅱ」 「ソーシャルワークと権利擁護の視点Ⅱ」
2月22日(土)	6	レイアップ 6-D	⑩実践評価・実践研究系科目Ⅰ 「実践研究発表の方法」

*①～⑩は日本社会福祉士会が示した受講の順番。東海四県ではレポート課題・時間数の関係上順番変更

